



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS
 コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥窪 宏章
 (氏名) 桂 龍司
 配当支払開始予定日
 TEL 082-243-5844
 2021年6月24日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	57,578	△1.7	2,127	△8.1	2,013	△24.6	1,736	△12.2
2020年3月期	58,569	0.9	2,314	58.2	2,672	75.8	1,977	70.5

(注) 包括利益 2021年3月期 2,910百万円 (207.9%) 2020年3月期 945百万円 (29.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	71.13	—	5.2	3.0	3.7
2020年3月期	81.12	—	6.2	4.0	4.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 174百万円 2020年3月期 308百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	69,085	34,993	50.4	1,426.75
2020年3月期	66,567	32,470	48.6	1,326.12

(参考) 自己資本 2021年3月期 34,841百万円 2020年3月期 32,336百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,739	△3,251	△535	6,222
2020年3月期	3,565	△3,340	△1,187	6,008

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00	414	21.0	1.3
2021年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00	415	23.9	1.2
2022年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00		24.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,100	4.3	950	△9.2	1,050	△6.9	750	△29.3	30.71
通期	58,600	1.8	2,100	△1.3	2,300	14.2	1,700	△2.1	69.61

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	24,733,466 株	2020年3月期	24,733,466 株
2021年3月期	313,201 株	2020年3月期	348,867 株
2021年3月期	24,408,104 株	2020年3月期	24,382,034 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	40,853	△1.1	293	△6.3	1,167	△5.8	936	△6.0
2020年3月期	41,302	△0.9	312	47.9	1,240	53.5	996	49.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円銭	円銭
2021年3月期	38.36	—
2020年3月期	40.86	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭	円銭	
2021年3月期	53,236	48.5	25,807	48.5	1,056.82			
2020年3月期	52,427	47.8	25,073	47.8	1,028.25			

(参考) 自己資本 2021年3月期 25,807百万円 2020年3月期 25,073百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(重要な会計上の見積り)	14
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響により外来患者の受診控え、不急の手術・処置の延期等が生じたため、当社で扱う医療機器の需要は感染対策関連機器等を除き総じて減少しております。今後ワクチン接種など新型コロナへの対応が進むにつれ、その需要は徐々に回復することが見込まれます。中長期的な医療機器の需要は、海外においては、欧米での安定成長に加えて、中国を含む新興国において経済成長に伴う医療インフラの整備を背景に成長が見込まれております。国内においては、医療施設の統合によって設備投資が減少し一部の医療機器の需要は成長鈍化するものの、引き続き高齢化が進展する中で高機能治療機器やデジタルヘルスへの対応が求められており、これに応える医療機器の需要が伸びると予想されます。

事業活動としましては、ホスピタルプロダクツ ビジネスユニットでは輸液・栄養領域を、サージカル&セラピー ビジネスユニットでは透析領域及び外科治療領域を、ブラッドマネジメント&セルセラピー ビジネスユニットでは血液・細胞領域を中心にそれぞれ事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、外来患者数や症例数減少に伴い、前連結会計年度に比べ9億90百万円減少の575億78百万円（前連結会計年度比1.7%減）となりました。

利益につきましては、活動自粛に伴い販売費は減少したものの、減収影響に加え商品仕入単価の上昇により、営業利益は21億27百万円（前連結会計年度比8.1%減）となりました。また、持分法投資利益の減少や為替差損の計上により、経常利益は20億13百万円（前連結会計年度比24.6%減）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は17億36百万円（前連結会計年度比12.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

中国向けの血液透析装置の販売のほか、薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が増加したものの、輸液セットの販売が減少したため、売上高は408億53百万円（前連結会計年度比1.1%減）となりました。また、セグメント利益については、販売費が減少したものの、減収影響や商品仕入単価の上昇により11億67百万円（前連結会計年度比5.8%減）となりました。

(シンガポール)

北米向けのA V F針（血液透析用針）の販売や成分献血用回路の販売が減少したため、売上高は197億83百万円（前連結会計年度比3.8%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響に加え為替差損の計上により6億96百万円（前連結会計年度比54.0%減）となりました。

(中国)

日本向けの血液浄化回路の販売や輸液輸血関連用品の販売が増加したため、売上高は30億15百万円（前連結会計年度比9.9%増）となりました。また、セグメント利益については、新製品追加等に伴う増収増益効果により2億32百万円（前連結会計年度比692.4%増）となりました。

(フィリピン)

北米向けの成分献血用回路の販売が増加したため、売上高は29億22百万円（前連結会計年度比4.9%増）となりました。また、セグメント利益については、販売及び生産の拡大により1億44百万円（前連結会計年度比320.3%増）となりました。

(ドイツ)

血液バッグの販売が減少したため、売上高は31億40百万円（前連結会計年度比1.0%減）となりました。また、セグメント利益については、為替差損の計上により、2億21百万円（前連結会計年度比6.4%減）となりました。

(その他)

売上高は40億31百万円（前連結会計年度比20.1%減）、セグメント利益は2億10百万円（前連結会計年度比28.2%増）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25億18百万円増加の690億85百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ18億95百万円増加の389億83百万円となりました。この主な要因は、在庫確保に伴い商品及び製品が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億22百万円増加の301億1百万円となりました。この主な要因は、時価評価により投資有価証券が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億50百万円増加の225億45百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6億54百万円減少の115億46百万円となりました。この主な要因は、流動負債への振替により長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ25億22百万円増加の349億93百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加したためであります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント上昇の50.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度に比べ2億14百万円増加の62億22百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度に比べ1億73百万円増加の37億39百万円となりました。この主な要因は、たな卸資産の変動によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前連結会計年度に比べ89百万円減少の32億51百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前連結会計年度に比べ6億51百万円減少の5億35百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナの影響が続く中、その状況によっては国内外経済が悪化するリスクも依然として残っており、事業環境は今後も変化していくことが想定されます。

このような環境の中、当社グループは、長期ビジョンとして「未来の医療を先取りした新たな価値の創造を実現し、世界の人々の健康とQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の一層の向上を支える企業になる」ことを定め、中期経営計画《GAIN-RG 2023》で掲げた顧客起点の深化と収益向上への変革という基本方針のもと、5つの取り組み「事業ポートフォリオの最適化」、「グローバル体制の強化」、「次世代事業の創出」、「グループ経営基盤の強化」、「持続可能な社会の実現」を進めてまいります。

次期（2022年3月期）の連結業績予想につきましては、以下のとおりであります。

なお、現時点で新型コロナの収束時期を予測することは困難な状況ですが、ワクチン接種などの対応が進むにつれて事業環境は改善に向かうものの、翌連結会計年度以降も新型コロナによる影響が一定程度は残ると仮定して算出しております。

<連結業績予想について>

(単位：百万円)

	2021年3月期 連結業績	2022年3月期 連結業績予想	増減率 (%)
売上高	57,578	58,600	1.8
営業利益	2,127	2,100	△1.3
経常利益	2,013	2,300	14.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,736	1,700	△2.1

(注) 業績予想にあたっての前提として、為替レートを、1米ドル=108円、1ユーロ=128円、1シンガポールドル=81円としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,765	5,968
受取手形及び売掛金	15,683	16,415
有価証券	254	256
商品及び製品	7,735	8,872
仕掛品	2,787	2,758
原材料及び貯蔵品	3,928	4,056
その他	962	683
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	37,088	38,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,168	21,881
減価償却累計額	△12,809	△13,551
建物及び構築物(純額)	8,358	8,329
機械装置及び運搬具	30,435	31,601
減価償却累計額	△22,628	△24,192
機械装置及び運搬具(純額)	7,807	7,409
工具、器具及び備品	11,134	11,718
減価償却累計額	△9,144	△9,807
工具、器具及び備品(純額)	1,990	1,911
土地	2,598	2,604
リース資産	382	428
減価償却累計額	△165	△205
リース資産(純額)	216	222
使用権資産	1,684	1,761
減価償却累計額	△253	△435
使用権資産(純額)	1,431	1,325
建設仮勘定	1,567	2,302
有形固定資産合計	23,970	24,105
無形固定資産	538	692
投資その他の資産		
投資有価証券	3,846	4,212
繰延税金資産	726	658
その他	407	443
貸倒引当金	△10	△11
投資その他の資産合計	4,969	5,304
固定資産合計	29,479	30,101
資産合計	66,567	69,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,446	8,322
短期借入金	4,189	4,304
1年内返済予定の長期借入金	3,402	4,109
リース債務	236	258
未払金	2,806	3,405
未払法人税等	571	339
賞与引当金	1,060	1,099
その他	1,180	706
流動負債合計	21,895	22,545
固定負債		
長期借入金	9,986	9,336
リース債務	637	495
繰延税金負債	224	230
役員退職慰労引当金	116	128
退職給付に係る負債	731	805
資産除去債務	134	148
その他	370	401
固定負債合計	12,201	11,546
負債合計	34,096	34,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	15,932	17,241
自己株式	△270	△242
株主資本合計	33,435	34,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	401
為替換算調整勘定	△1,302	△332
その他の包括利益累計額合計	△1,098	69
非支配株主持分	133	151
純資産合計	32,470	34,993
負債純資産合計	66,567	69,085

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	58,569	57,578
売上原価	42,931	42,483
売上総利益	15,638	15,095
販売費及び一般管理費	13,323	12,968
営業利益	2,314	2,127
営業外収益		
受取利息	17	10
受取配当金	42	43
持分法による投資利益	308	174
補助金収入	79	21
その他	145	127
営業外収益合計	594	376
営業外費用		
支払利息	195	176
為替差損	—	269
その他	40	43
営業外費用合計	236	490
経常利益	2,672	2,013
特別利益		
固定資産売却益	69	7
投資有価証券売却益	0	1
補助金収入	—	353
特別利益合計	69	362
特別損失		
固定資産売却損	19	1
固定資産廃棄損	28	151
投資有価証券評価損	84	—
役員退職慰労金	41	—
特別損失合計	174	153
税金等調整前当期純利益	2,567	2,222
法人税、住民税及び事業税	619	459
法人税等調整額	△39	21
法人税等合計	579	480
当期純利益	1,987	1,742
非支配株主に帰属する当期純利益	10	6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,977	1,736

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,987	1,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	197
為替換算調整勘定	△949	970
その他の包括利益合計	△1,042	1,168
包括利益	945	2,910
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	946	2,891
非支配株主に係る包括利益	△1	19

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,411	10,362	14,323	△276	31,821
会計方針の変更による累積的影響額			21		21
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,411	10,362	14,344	△276	31,842
当期変動額					
剰余金の配当			△390		△390
親会社株主に帰属する当期純利益			1,977		1,977
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	6	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,587	5	1,593
当期末残高	7,411	10,362	15,932	△270	33,435

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	297	△353	△56	135	31,900
会計方針の変更による累積的影響額					21
会計方針の変更を反映した当期首残高	297	△353	△56	135	31,921
当期変動額					
剰余金の配当					△390
親会社株主に帰属する当期純利益					1,977
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△93	△949	△1,042	△1	△1,044
当期変動額合計	△93	△949	△1,042	△1	549
当期末残高	203	△1,302	△1,098	133	32,470

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,411	10,362	15,932	△270	33,435
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,411	10,362	15,932	△270	33,435
当期変動額					
剰余金の配当			△427		△427
親会社株主に帰属する当期純利益			1,736		1,736
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	27	27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,308	27	1,336
当期末残高	7,411	10,362	17,241	△242	34,772

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	203	△1,302	△1,098	133	32,470
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	203	△1,302	△1,098	133	32,470
当期変動額					
剰余金の配当					△427
親会社株主に帰属する当期純利益					1,736
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	197	970	1,168	18	1,186
当期変動額合計	197	970	1,168	18	2,522
当期末残高	401	△332	69	151	34,993

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,567	2,222
減価償却費	3,160	3,242
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	40	△5
受取利息及び受取配当金	△60	△53
支払利息	195	176
為替差損益 (△は益)	△24	33
持分法による投資損益 (△は益)	△308	△174
固定資産売却損益 (△は益)	△49	△6
固定資産廃棄損	28	151
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	84	—
補助金収入	—	△353
売上債権の増減額 (△は増加)	231	△529
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,128	△895
仕入債務の増減額 (△は減少)	△262	△222
未払消費税等の増減額 (△は減少)	62	47
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△158	296
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△546	248
その他	29	△28
小計	3,872	4,152
利息及び配当金の受取額	153	107
利息の支払額	△199	△176
補助金の受取額	135	353
和解金の受取額	60	—
法人税等の支払額	△456	△698
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,565	3,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△55	△45
定期預金の払戻による収入	56	55
有形固定資産の取得による支出	△3,117	△2,988
有形固定資産の売却による収入	139	9
無形固定資産の取得による支出	△185	△270
投資有価証券の取得による支出	△130	△45
投資有価証券の売却による収入	0	1
投資事業組合からの分配による収入	—	56
その他	△48	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,340	△3,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,234	18,262
短期借入金の返済による支出	△16,262	△18,152
長期借入れによる収入	2,800	3,800
長期借入金の返済による支出	△3,474	△3,766
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△390	△427
非支配株主への配当金の支払額	—	△1
セール・アンド・リースバックによる収入	90	—
リース債務の返済による支出	△184	△249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,187	△535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△246	261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,208	214
現金及び現金同等物の期首残高	7,216	6,008
現金及び現金同等物の期末残高	6,008	6,222

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

売上取引に係る未確定の値引額に関する見積り

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額(売上高) 920百万円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は顧客への販売において、値引きに係る未確定部分を見積額として売上高から控除しております。この見積額は、顧客別製品群別に過去の値引率及び販売実績額を主要な仮定としているため、見積りに係る確定差額が翌年度の連結会計年度に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(表示方法の変更)

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当連結会計年度の年度末に係る連結財務諸表から適用し、連結財務諸表に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

ただし、当該注記においては、当該会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る内容については記載していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に医療機器・医薬品を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては、シンガポール、中国、フィリピン、ドイツ等の各地域をジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. (シンガポール)、PT. ジェイ・エム・エス・バタム(インドネシア)、大連ジェイ・エム・エス医療器具有限公司(中国)、ジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン, INC. (フィリピン)、バイオニック・メディツインテックGmbH(ドイツ)及びその他の現地法人が、それぞれ担当しております。また、シンガポールに所在するジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. と、インドネシアに所在するPT. ジェイ・エム・エス・バタムは、生産体制を相互に補完していることから一体とした経営単位で、その他現地法人はそれぞれ独立した経営単位で、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「シンガポール」、「中国」、「フィリピン」及び「ドイツ」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域及びその他の製品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	38,017	10,838	1,492	5	3,170	53,524	5,044	58,569
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,285	9,734	1,252	2,779	0	17,052	—	17,052
計	41,302	20,573	2,744	2,785	3,171	70,577	5,044	75,622
セグメント利益又は損失 (△)	1,240	1,514	29	34	236	3,054	164	3,219
セグメント資産	52,427	13,849	3,272	5,141	2,033	76,724	3,667	80,392
その他の項目								
減価償却費	1,810	687	187	294	29	3,008	—	3,008
受取利息	0	9	2	0	1	13	—	13
支払利息	77	26	12	86	0	203	—	203
持分法投資利益 又は損失 (△)	308	—	—	—	—	308	—	308
持分法適用会社への投資額	1,172	—	—	—	—	1,172	—	1,172
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,070	832	96	317	9	3,327	—	3,327

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	38,116	10,769	1,517	15	3,128	53,546	4,031	57,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,736	9,014	1,498	2,906	12	16,168	—	16,168
計	40,853	19,783	3,015	2,922	3,140	69,715	4,031	73,747
セグメント利益又は損失 (△)	1,167	696	232	144	221	2,461	210	2,672
セグメント資産	53,236	14,819	3,343	5,393	1,909	78,702	3,742	82,444
その他の項目								
減価償却費	1,882	642	191	317	28	3,062	—	3,062
受取利息	0	1	4	0	1	7	—	7
支払利息	77	19	7	77	0	182	—	182
持分法投資利益 又は損失 (△)	174	—	—	—	—	174	—	174
持分法適用会社への投資額	1,172	—	—	—	—	1,172	—	1,172
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,567	480	118	395	20	2,581	—	2,581

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	70,577	69,715
「その他」の区分の売上高	5,044	4,031
セグメント間取引消去	△17,052	△16,168
連結財務諸表の売上高	58,569	57,578

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,054	2,461
「その他」の区分の利益又は損失(△)	164	210
セグメント間取引消去	△778	△759
持分法投資利益又は損失(△)	308	172
その他の調整額	△77	△71
連結財務諸表の経常利益	2,672	2,013

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	76,724	78,702
「その他」の区分の資産	3,667	3,742
セグメント間相殺消去	△13,584	△13,199
その他の調整額	△240	△159
連結財務諸表の資産合計	66,567	69,085

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	3,008	3,062	72	71	3,080	3,134
受取利息	13	7	4	2	17	10
支払利息	203	182	△7	△5	195	176
持分法投資利益 又は損失(△)	308	174	—	—	308	174
持分法適用会社への 投資額	1,172	1,172	1,511	1,631	2,684	2,804
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,327	2,581	△291	518	3,036	3,100

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,326.12円	1,426.75円
1株当たり当期純利益	81.12円	71.13円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,977	1,736
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,977	1,736
普通株式の期中平均株式数(株)	24,382,034	24,408,104

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

本日、別途開示しております。